

「ごみとして捨てられていた資源物(空きびん、空き缶、古紙等)を回収し、再資源化することは、限られた資源を有効に活用でき、また増大し続けるごみを減らすなど生活環境を保全するうえで、重要な役割を担っています。」

平成8年10月より 資源ごみの分別収集を試行

村では、従来の燃えるごみ、燃えないごみ、粗大ごみの三分別に空きびん、空き缶、古紙の三分別を加え、六分別による収集を10月より行います。

また、今まで燃えないごみとして取扱っていたビニール、プラスチック、発砲スチロール等の高分子化合物が燃えるごみとなります。

新たな分別区分は、下記のとおりですが、収集日程、出し方

- ・燃えるごみ (ビニール、プラスチック類 含む)
- ・燃えないごみ
- ・資源ごみ
- ・粗大ごみ

空きびん、空き缶、古紙




環境指導員制度

環境指導員制度とは、環境指導員がごみ収集ステーションにおいて、地域住民にごみの適正排出について指導するもので、

集団資源回収活動

資源リサイクルの大きな柱となっている集団資源回収活動に対し、村では平成七年度に奨励金制度を制定し、積極的に支援しています。現在の登録団体は九団体となっています。

村の歯科事業

	乳歯のむしば予防	永久歯のむしば予防	歯周疾患予防
	誕生 → 4歳6か月	保育園 → 中学3年生	成人 → 高齢者
村で実施していること	幼児歯科健診 (1歳6か月児～4歳6か月児) *6か月毎に受診しましょう*	保育園 学校歯科健診 *年1回実施しています*	成人歯科健診 (総合健診に併設しています) 母親歯科健診 (1歳6か月・3歳児健診に併設しています) *在宅寝たきり者訪問歯科診療(保健婦に声をかけて下さい)
	フッ素塗布 6か月毎に塗布しましょう	フッ素洗口 年中組～ 小学校6年まで	成人歯科健診後歯科指導
歯科指導	はみがき指導 おやつ指導	保育園歯科指導 保護者(6月) 年中組(10月頃) 年長組(2月頃) 小学校2年生を対象にはみがき指導	
家庭で実施すること	歯みがき 	おやつ時間と回数 は少なく 	フッ素の利用 

歯の健康

村では、歯の健康づくりのため、図のような様々な歯科事業を実施しています。

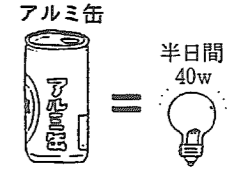
子ども達の歯を見ると、間食歯みがき・フッ素をうまく実行

成人については、総合健診や幼児健診の時に歯科健診を併設しています。歯石・歯周病が

目立ちます。大人になっても、子ども達同様に間食・歯磨き定期健診が必要となります。


子どものうちは、保護者の方が大人になったら一人ひとりが自分の歯を管理して、家族みんなが年齢の長寿だけでなく、歯の長寿も目指して、人生を楽しく生きていきましょう。

リサイクルによる効果



アルミ缶1個を資源化することで40wの電球を半日つけっぱなしにしておけるだけの熱量が節約できます。

資源・エネルギーの節約量 97%



古紙1tを資源化することで直径14cm、高さ8mの木20本を伐採しないで済みます。

資源・エネルギーの節約量 70～75%

ボカシを利用した生ごみ処理とは、米ぬか、粉から、糖みつ等に、有効微生物を加え、発酵させたボカシを利用し、生ごみから有用な発酵堆肥を作ることにより、生ごみの減量化と有効利用を図るものです。

発酵堆肥の作り方

- ①密閉容器に生ごみを入れ、そのうえからボカシをふりかけ、しっかりとフタをし、この作業を容器がいっぱいになるまで繰り返します。
- ②容器がいっぱいになったら、一週間から十日間そのままにしておくと、発酵堆肥のできあがり返します。
- ③それを土に戻すと、十日から二週間で分解します。掘り起こしても何も残っていません。これが、ボカシを利用した生ごみ処理のサイクルです。

ボカシモニターの実施

村では、ボカシを利用した生ごみ処理の有効性について、モニター制度を実施。モニター数二十四名、期間二ヵ月間、提供

資材として、ボカシ(一・五kg)二袋と密閉容器(十五ℓ)2個を配布し、期間終了後アンケートを行いました。

ごみの減量に効果大

～モニターアンケート結果より～

生ごみ処理(堆肥化)することにより、燃えるごみの日に出すごみの量が多い人で従来の三分の一、少ない人でも三分の二に減ったという結果を得ました。燃えるごみに占める生ごみの量がいかに多いかということもわかりました。

この減量効果からか、モニターのほとんどの方が、今後もボカシを利用した生ごみ処理を継続したいと回答されています。

また、手間はかかるが、生ごみ処理による減量効果は大きいので、一人でも多くの人が実践できるよう、その効果等について、PRした方がよいという、村への要望もありました。

これをふまえ、村では密閉容器購入費の半額助成、ボカシの斡旋等、ボカシを利用した生ごみ処理について、積極的に取り組むたいと考えています。

後輩野球部の活躍に期待 平成7年度OBが横断幕寄贈



寄贈された横断幕をバックに

六月四日、平成七年度卒横越中学校の野球部OB一同より、後輩野球部に対して横断幕が寄贈されました。

横断幕には「燃えろ! 横雲球児」

と染め抜かれており、各種の大会に参加する際に、本村の中学校野球部を象徴する横断幕として使って欲しいとのことから、寄贈されたもの。寄贈には、前年度卒業の野球部の保護者として青木清さん、田中武さんが代表で訪れ、学校側に手渡ししました。

学校側からは、心温まる贈り物に対して「このようにみなさんから盛り上げていただければ、生徒達の張り合いもできます」と感謝の言葉が述べられ、また、部長の阿部智明くん、副部長の皆川友和くんからも「頑張ります」との力強い宣言がありました。